
ビックリマン2000外伝

法色明

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ビックリマン2000外伝

【Nコード】

N4650BA

【作者名】

法色明

【あらすじ】

三流ヘッド対聖魔12隊玖番隊長・副隊長の対決です。

ゴドブレス達のプライドが硝子のように砕け散る爽快感をお楽しみください。

三流ヘッドの敗北。(前書き)

三流ヘッドには敵しすぎる現実が待っていた。

三流ヘッドの敗北。

三流ヘッドのゴドブレス・プロフェードに言い渡された言葉は、「ヘッドから降格」という最後通牒だった。

残留試験は揃って不合格の絶体絶命な状態。此の俎ではヘッド残留も危うい状況であり、

奴らの所属軍「新天聖軍（28人の軍隊）」も潰滅寸前。

すると、スーパーゼウスは「2時間後の実技試験で、勝てたら残留を認めよう。」と謂ったが、

相手はバカラ棟梁が新天聖軍対策に組織した「聖魔12隊」の玖番隊長の「LOVEサー帝」と副隊長の「A球サービス」だった。

三流ヘッドの敗北。(後書き)

完全に、ビックリマン2000の集中豪無篇を完全破壊して作った小説です。

キャラ紹介（前書き）

キャラの大体の紹介です。

キャラ紹介

LOVEサー帝

聖魔12隊の玖番隊長に就任したテニス天使。頭脳明晰でプリキュア好きな天使。必殺技にはプリキュアシリーズ関連が多い。声優は「伊藤静」

A球サービス

聖魔12隊の玖番副隊長に就任したLOVEサー帝の^{サポーター}聖守。顔がえなりかずきに似てるのか、声も「えなりかずき」である。天使・LOVEサー帝との相性は抜群に良い。必殺技は、『いろはにほへと』を取り入れた技を使う。

聖祝宰ゴドブレス

三流天使ヘッドで、「新天聖軍」の隊長。顔面はセンター寄りで不細工、地図音痴、バカと三拍子揃ったダメ人間。

声は「akbの前田敦子」。

剛昇プロフェード

三流聖守ヘッドで、「新天聖軍」の副隊長。バカで臆病者で、ヘタレで、人間性がない薄っぺら最低人間。声は「世界のヘイポー」。

キャラ紹介（後書き）

ビックリマン2000の集中豪無篇の設定を完全破壊して再構築したお話です。

特に、ゴドブレス・プロフェードはムカつく賊なので、最弱キャラにしました。

三流ヘッド落第決定。(前書き)

新天聖軍が聖魔12隊に敗北した事から始まります。
三流ヘッドは残留出来るか？

三流ヘッド落第決定。

時は、2011年。1985年3月23日にアレグリアが隕石衝突により、滅亡してから26年が過ぎた。

LOVEサー帝「結局、新天聖軍って、ザコ過ぎて相手にならなかったわね。」

A球サービス「LOVEさん、そもそも28人しかいないのに、軍と謂ってる時点でおかしいものですよ。」

LOVEサー帝「其れもそうよね。非常に弱いし、軍の26人はあり得ないぐらいに痩せ細っていて今にも倒れそうだったわね。」

と、「玖」のバッジを胸に付けた『天使・LOVEサー帝』と『聖守・A球サービス』が話していた。

再西太后「私達、聖魔12隊の力が無くても勝てたんじゃないの？」

保護観音「一応、念には念をおいた方が良いわよ。じゃないと、勝てる試合も勝てないわ。」

聖魔12隊の参番隊長の「保護観音」と肆番隊長の「再西太后」が言う通り、「新天聖軍」は非常に弱かった。

聖魔12隊は悪魔ヘッドに就任した「バカラ棟梁」が妻「聖母ダンディーラー」と共に組織した軍である。

来たる「新天聖軍」に備え、天使や悪魔から12人の隊長、^{サポーター}聖守や^{フリガン}魔守から副隊長を選び聖魔和合界を護る義勇軍である。

ピンゾロイド2号「LOVEサー帝さん、お疲れだゾロ。」

LOVEサー帝「お疲れも何も、あんな弱過ぎる奴らなんか戦って勝っても意味ないわ。」

ピンゾロイド2号「其れもそうゾロね。」

LOVEサー帝と話してるロボは、バカラ棟梁の魔守「ピンゾロイド2号」である。

聖魔12隊の管理を任されており、たまにミスはするが、結構頼りになるキャラである。

A球サービス「ところで、ピンゾロイドさん、何か伝言とかありませんかね？」

ピンゾロイド2号「そうゾロ。バカラ様から伝言があったゾロ。」

ピンゾロイド2号は、LOVEサー帝とA球サービスに伝言を見せた。

LOVEサー帝「何々、此の戦いは見事我らの勝利で終わった。尚、三流ヘッドは、残留試験に不合格したようだ。……だってね。」

A球サービス「此れは、最後通牒ですね。」

バカラ棟梁は勝利発言と、敗北した奴らの処分を記した紙をピンゾロイド2号に渡したのであった。

其の頃、三流ヘッドである、ゴドブレス・プロフェードは、残留試験不合格を言い渡されていた。

グリニッジ神官「残念ながら、君達二人をヘッドにする資格はない。」

テクニカルK王「と言う訳だ。さっさと諦めて降格するんだな。」

厳しい言葉を謂ったのは、聖魔12隊の伍番隊長の「テクニカルK王」と拾貳番隊長の「グリニッジ神官」だった。

プロフェード「ワスらが不合格って、何かの間違いだよね？」

グリニッジ神官「間違いではなく、本当のことであり、紛れの無い事実だ。」

ゴドブレス「偶々試験が難しかっただけよ！」

テクニカルK王「レベルは高校入試程度で、普通に勉強すれば落ちないけど、お前らはバカだったな。」

何度も食い下がろうとする三流ヘッドだが、事実を覆す事は出来なかった。

勿論、聖魔12隊の捕虜になった新天聖軍の処分は想像を絶する程厳しかった。

LOVEサー帝「問題は、普通に勉強すれば解けるのに、アイツらはバカだったわね。情けないけど、同情出来ないわ。」

A球サービス「将にバカにつける薬はないと同じだな。」

捕虜になった三流ヘッドのテスト結果は赤点連発の散々なものだった。

其の結果にスーパーゼウスは、「前代未聞で空前絶後のバカヘッドじゃ。ヘッドの顔を汚した恥曝しには用はない。」と安易に切り捨てた。

其の処分にゴドブレス・プロフェード兩人は、

「お願いします、最後のチャンスを。」と土下座して必死に頼み込んだのであった。

スーパーゼウス「しかし、ワシも其処迄厳しくはせん。来たる二ヵ月後の実技試験に勝てたら、ヘッド残留を認めよう。但し、敗けたら、問答無用で降格じゃ。」

と、最後のチャンスを与えた。

しかし、最後のチャンスなんて最初から存在せず、寧ろ、厳し過ぎる現実が待っているようとは、三流ヘッドは未だ知らなかった。

三流ヘッド落第決定。（後書き）

完全に集中豪無篇を破壊した内容を執筆しました。
此れからの「LOVEサー帝」、「A球サービス」コンビの活躍を
お楽しみください。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4650ba/>

ビックリマン2000外伝

2012年1月13日17時48分発行